

「鳥飼なす」や「米」で農作業体験を実施

事業実施主体: 摂津市(大阪府)

大阪府摂津市



- 摂津市では、農地の減少や生産者の高齢化により、本市の特産品であるなにわの伝統野菜「鳥飼なす」などの栽培技術の継承が課題であることから、市内の小学生を対象に、「鳥飼なす」の学習や植付け体験を実施した。また、身近な作物である「米」について、田植えや稲刈り体験を実施した。
- 収穫した「鳥飼なす」や「米」を親子クッキングや調理実習及び給食において、調理し食することで、子ども自身が自然の恩恵や農業への知識や理解を深め、更に、地域食品の魅力の再発見に繋がることを目的として実施した。

【取組の内容】

○ なにわの伝統野菜「鳥飼なす」: 植付け体験

市内の全小学3年生を対象に、地域の農業者等の指導のもと、「鳥飼なす」に関する学習を行い、苗の植付け体験を実施した。

なお、収穫した「鳥飼なす」は、親子クッキングや調理実習及び給食で調理し食した。

指導者: 摂津市農業振興会会員及び市職員

対象者: 市立小学校全 10校

小学3年生 719名



○ 「米」: 田植え、稲刈り体験

市内の全小学5年生を対象に、地域の農業者等の指導のもと、米を育てる苦労や楽しみを学びながら「米」の栽培、田植え、稲刈り体験を実施した。

なお、収穫した米は、各校でおいごり作りやカレーライスなどを作る調理実習で食した。

指導者: 地域の生産者、JA職員、市職員

対象者: 市立小学校全 10校

小学5年生 690名



【取組の成果】

小学生を対象になにわの伝統野菜「鳥飼なす」と「米」の栽培に関する学習や農作業体験を実施し、更に親子クッキングや調理実習、給食において、自ら収穫した食材を調理し食することで、子どもたち自身が、楽しみながら自然の恩恵を学び、働くことの意味、食べ物の大切さや魅力など農業への知識や理解を深める取組となった。

また、この取組については、「給食だより」や「えいようだより」を活用し、保護者等に情報発信することで、地元の伝統野菜や農業への関心を高めることにつながった。

【農林漁業体験者数】

目標値(延べ人数) 1,000人 → 体験者数実績 1,409人 達成率: 140.9%

「鳥飼なす」の調理実習

参加者は、農作業体験や自ら収穫し調理実習等で味わうことで、「働くことの意味」や「食べ物の大切さや魅力」など地域の食材や農業への知識と理解を深めた。

